

## 【シリーズSDGs ⑦】

身近なところからSDGsの取組をしましょう。

# ゴール7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」



SDGsゴール7は「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を目標としています。

世界では、人口の約9割の人が電気のある生活を送っていますが、まだ電気のない生活を送る人が8億人を超えていると言われています。

また、現在、エネルギーとして使われる原料の大半は化石燃料(天然ガス・石油・石炭)に頼っています。化石燃料には限りがあること、また、エネルギーを作るときに二酸化炭素が発生することなどが問題となっています。そこで、クリーンなエネルギーとして再生可能エネルギー(風力発電、水力発電、太陽光発電など)の利用に注目が集まっています。

日本では、エネルギー自給率が11・8%と低く、海外からエネルギー源を輸入しています。このことは、安定的なエネルギー確保の面で問題となっています。

### ○行政の役割としては

公共建築物に対して率先して省エネや再エネ利用を推進したり、住民が省エネ・再エネ対策を推進するのを支援するなど、安価かつ効率的で信頼性の高い持続可能なエネルギー源利用のアクセスを増やすことも自治体の大きな役割です。

### ○私たちができること(例)

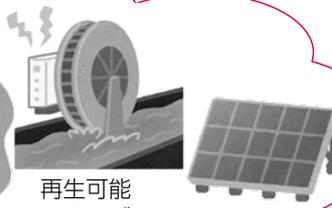
- ・世界のエネルギー問題や日本のエネルギー問題について調べてみる。
- ・公共交通機関の利用やアイドリングストップを実践してみる。
- ・日常生活における節電を心がける。

2030年までの国際的な目標の実現に向け意識を实践しましょう。

### 私たちができること(例)



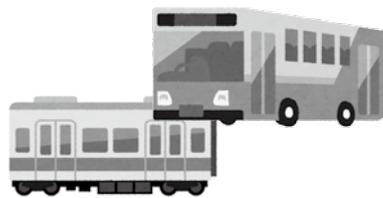
使っていない電化製品のスイッチOFFやプラグを抜くなどの節電



再生可能エネルギー



アイドリングストップ



公共交通機関の利用



インターネットなどで調べてみる

## 目標達成のためのターゲット

- 2030年までに、エネルギーをつくる方法のうち、再生可能エネルギーを使う方法の割合を大きく増やす。
- 2030年までに、国際的な協力を進めて、再生可能エネルギー、エネルギー効率、石炭や石油を使う場合のより環境にやさしい技術などについての研究を進め、その技術をみんなが使えるようにし、そのために必要な投資をすすめる。

SDGs7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」では、上記のようなターゲットを5個掲げ、目標達成に向けて取り組みを進めていきます。

※公益財団法人 日本ユニセフ協会HP引用

問 みらい創生課 企画・SDGs推進班 ☎(72)1151